

人間社会学部／社会福祉コース	職名	教授	氏名	細井 勇
----------------	----	----	----	------

1. 教員紹介・主な研究分野

主な研究分野は、社会事業史研究である。日本の近代化過程の特質とは何か、その中で社会福祉は如何に形成されてきたか、とくに、近代日本におけるキリスト教の受容、その隣人愛に触発された慈善事業に関心がある。これまで、岡山孤児院と石井十次に関する研究を続けてきたが、最近では、その事業のモデルとなった英国バーナードズ、児童ケアの日英比較に発展し、さらに現在では、日英比較では見えてこないドイツ等におけるソーシャル・ペタゴジーに注目するようになり、その日本の社会的養護界への導入を試行しようとしている。旧産炭地筑豊の生活保護史とキリスト教学生運動史の研究は、もう一つのライフワークである。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

〈著書〉

細井勇「石井十次とアメリカン・ボード―宣教師ペティーから見た岡山孤児院―」細井勇、小笠原慶彰他編『福祉にとっての歴史 歴史にとっての福祉 ―人物で見る福祉の思想―』ミネルヴァ書房, 2017年

〈論文〉

細井 勇((社会による子育て)を考える ソーシャル・ペタゴジーとドイツの児童福祉の紹介を通じて)『児童養護』49-1, 30-33, 2018年.

細井勇「嶋田啓一郎におけるキリスト教と社会正義論」『キリスト教社会福祉学研究 第50号記念特集』24-34, 2018年

細井勇「国際的観点から見たドイツにおける家族政策と要保護児童対策」『社会保障研究』2-2. 3, 233-248, 2017年

細井勇「正義と自由としての社会福祉―『商品化』論と『脱商品化』論の関係―」『福岡県立大学人間社会学部紀要』25-2, 1-20, 2017年

細井勇「ドイツの児童福祉と日本の児童福祉―ドイツ児童・青少年援助法と児童福祉施設―」『福岡県立大学人間社会学部紀要』25-1, 1-21, 2016年

細井勇「ソーシャル・ペタゴジーと児童養護施設―福祉レジームの観点からの国際比較研究」『福岡県立大学人間社会学部紀要』24-2, 1-21, 2016年

②その他最近の業績

〈書評〉

細井勇(書評: 犬養 光博著『筑豊に出会い、イエスと出会う』『キリスト教社会福祉学研究』51号, 120-123, 2019年.

〈その他〉

田代英美・細井勇「(日独国際シンポジウム) 石炭産業終焉後の"地域ビジョン"をめぐって」『福岡県立大学人間社会学部紀要』27-1, 137-148, 2018年.

細井 勇「ドイツの少年局と児童福祉施設」『石井十次資料館研究紀要』19, 219-242, 2018年.

細井勇他編『(国際学術シンポジウム報告書) 認知症の方とその家族への地域支援 看護と福祉の連携を考える』国際学術シンポジウム実行委員会、2018年3月18日

細井勇、田代英美編『(日独国際シンポジウム報告書) 石炭産業終焉後の“地域ビジョン”をめぐって―ポスト工業社会における暮らしと文化―』日独国際シンポジウム実行委員会、2018年3月31日

細井勇「学際的な国際協働研究の進展に向けて」『社会福祉研究』130号, 2017年
細井勇「ドイツの児童福祉施設を訪問して一浮かび上がる日本の児童福祉の課題―」
『石井十次資料館研究紀要』18, 2017年
細井勇「2015年度の研究活動報告」『石井十次資料館研究紀要』17, 2016年
細井勇「児童養護のルーツ」日本児童養護実践学会関西ブロック『こそだち』創刊号, 2016年

〈学会報告等〉

細井勇「(基調講演) 日本のミュラー・石井十次、ドイツの児童福祉、そして筑豊で出会った人々」第10回福岡県立大学社会福祉学会、2019年3月2日(於福岡県立大学)

細井勇「ソーシャルペタゴジーと児童福祉施設」日本ソーシャルペタゴジー学会第2回大会、2019年1月27日(於甲南大学)

細井勇「ドイツにおける社会的養護と青少年支援」日本ソーシャルペタゴジー学会第1回大会、2018年1月28日(於東京)

森茂起、細井勇他「(応募シンポジウム) これからの施設養護に求められるもの: 国際的に評価される実践モデルを目指して」第22回日本子ども虐待防止協会(於いて大阪国際会議場) 2016年11月25日

細井勇「(基調講演) 日本の社会的養護に求められる専門性としてのソーシャルペタゴジーの役割と意義について」日本児童養護実践学会第8回研究大会(於大阪成蹊短期大学) 2016年2月28日

③過去の主要業績

細井勇・菊池義昭編・解説『岡山孤児院関係資料集成』全3巻、不二出版、2009年

細井勇『石井十次と岡山孤児院―近代日本と慈善事業―』ミネルヴァ書房、2009年

田川地区社会福祉研究会・細井勇監修『福岡県田川福祉事務所四十年史』、1996年
共著『山室軍平の研究』同朋社、1991年

3. 外部研究資金

科研費研究「児童の代替的ケアをめぐる国際比較研究―日本、韓国、イギリス、ドイツを中心に―」(基盤研究B 代表細井勇 平成30年度~32年度、課題番号18H00950)

平成30年度 直接経費470万円

5. 所属学会

日本社会福祉学会、日本基督教社会福祉学会(理事)、社会事業史学会、日本ソーシャルペタゴジー学会(理事)、司法福祉学会、同志社大学社会福祉学会、日本子ども虐待防止研究会、日本児童養護実践学会、福岡県立大学社会福祉学会(会長)

6. 担当授業科目

(学部)

社会福祉概論I・2単位・1年前期、児童福祉論・2単位・2年前期、社会福祉相談援助実習指導・3単位・2年~3年、社会福祉相談援助実習・4単位・3年、相談援助演習C・1単位・3年後期、社会福祉学演習・2単位・4年前期、卒業論文・6単位・4年後期

(大学院)

社会福祉研究・2単位・前期、社会福祉演習・1単位・後期、特別研究・4単位・通年、フィールドワーク・2単位・1年後期

7. 社会貢献活動

福岡県日常生活自立支援事業契約締結審査会委員

児童養護施設栄光園 評議員

8. 学外講義・講演

細井勇「(シンポジウム、シンポジスト) 日英の児童養護実践の国際比較」岩手県立大学社会福祉学部国際セミナー『英国のボランティア団体におけるソーシャルワーク実践』
2018年8月7日 (於岩手県立大学)

細井勇「ソーシャル・ペダゴジーとは」大村子供の家主催研修会、2018年9月4日 (於大村子供の家)